

ところざわ 市議会 だより

平成22年(2010年)10月29日/年4回発行
発行/所沢市議会 編集/議会報・図書室委員会
〒359-8501 埼玉県所沢市並木一丁目1番地の1



第156号



■園児たちの歓声が響きます。(西所沢保育園)



…伝えたい議会のこと お聞きたい皆さんの声…

議会報告会 開催のお知らせ

11月20日(土) 午後2時より
小手指公民館分館ホール

11月24日(水) 午後7時より
松井公民館ホール

9月議会で審議した内容について、この市議会だよりを資料として、議員が市民の皆様にご報告します。お申し込みは不要ですので、お気軽にご来場ください。



おもな内容

- ◆第3回(9月)定例会 おもな議案の概要
議案に賛成×反対します、9月定例会の動き……………2～4
- ◆市政に対する一般質問……………4～7
- ◆閉会中の議会活動 ほか……………7
- ◆請願・陳情審議の結果、可決された決議 ほか……………8

ページ

平成22年 第3回定例会(9月2日～9月27日)

質問・答弁は要旨を掲載しています。なお、会議録は作成後、市立図書館、市役所1階・市政情報センター他で閲覧できます。

♻️ 本紙は古紙再生紙・大豆インキを使用しています。 ●所沢市議会は環境に配慮したまちづくりをしています。
●市議会ホームページアドレス <http://www.city.tokorozawa.saitama.jp/>▶「市議会」をクリック

議案を可決しました 26件

おもな議案の概要

所沢市自治基本条例特別委員会を設置

平成22年第3回(9月)定例会は、9月2日から27日までの26日間の会期で開催されました。市長からは、一般会計補正予算などの補正予算8件、所沢市斎場条例の一部を改正する条例制定など条例関係9件、決算の認定が12件など、計39件の議案が提出されました。

このうち、決算の認定12件と所沢市自治基本条例制定についての議案を9月定例会後の閉会中の継続審査とし、その他の議案はすべて可決しました。

議員からは、決算特別委員会及び所沢市自治基本条例特別委員会を設置する議案(4ページ上段参照)が提出され、いずれも可決しました。

また、教育福祉常任委員会から、小・中学校の猛暑対策を早急に実施することを求める決議についての議案(8ページ中段参照)が提出され、可決しました。



予算関係

補正予算に関する議案については、一般会計、下水道特別会計、国民健康保険特別会計ほか計8件でした。

一般会計補正予算については、21億1,085万9千円の増額を行ったもので、補正後の予算総額は、85億8,957万3千円になりました。

おもな一般会計補正予算は次のとおりです。

■社会福祉法人立保育園施設・設備整備補助事業 39,798千円

■民間保育園整備資金貸付事業 30,000千円

社会福祉法人わか竹会が運営する、わかたけ元町保育園の増築による定員増(30人)の計画提出を受け、施設整備費用の一部に対し補助金の交付と資金の貸付を行います。

■児童扶養手当支給事業 24,211千円

児童扶養手当法の一部改正により、本年8月分から父子家庭及び母に障害のある家庭も支給対象となりました。これに伴い児童扶養手当のシステム修正を行い、父子家庭分の手当と母子家庭の増加に伴う不足分を増額するものです。

条例関係

所沢市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例

職員が夏季の期間において、自身の健康の維持及び増進又は家庭生活の充実を図る場合、8日間の範囲内で取得できる夏季休暇(特別休暇)を新設するものです。

問 今までは、職員の夏季休暇はなかったのか。また、日数を8日にした根拠はなにか。

答 これまでは、条例に基づき厚生事業参加に係る職務専念義務の免除として実施してきた。日数8日の根拠としては、県内他市の状況を調査し、決定したものである。

9月定例会の動き

●9月6日	提案理由の説明・議案説明・採決(先議案件)
●9月7日	議会運営委員会および四常任委員会並行審査
●9月10・13・14・15日	市政に対する一般質問
●9月16日	総務常任委員会審査
●9月24日	議会運営委員会の中継報告・質疑 常任委員長報告・質疑
●9月27日	討論・採決 議員提出議案の上程・採決 追加議案の上程・質疑・採決 委員会提出議案の上程・採決

討論

議案に賛成×反対します



所沢市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例制定

- 反対
 - 昨年度の本市職員の夏季休暇平均取得日数は6.7日ということで、現行7日でも100%は取得されていない。8日に増やすことで、出勤日の業務量が増え、時間外労働増となる可能性もあり、かえって職員に負担がかかる。
- 賛成
 - 昨今の公務員バッシングには事実に基づく検証が必要である。民間の調査結果を見ても公務員の待遇が突出して良いわけではない。
 - 職員待遇の透明性が確保できる。
 - 県内他市の状況からも、8日は妥当である。

所沢市立学校設置条例の一部を改正する条例制定

- 反対
 - 住民に対し十分な周知期間もおかず、突然園児募集を中止し、廃園手続を強行した。
 - 地域の子育て支援の拠点であった幼稚園の廃園は、「子育てするなら所沢」という市長のスローガンにも反する。
- 賛成
 - 開園当初は150人前後いた園児が徐々に減少してきており、昨年度は55人となった。幼児期は集団生活を通して豊かな人格形成をはぐくむ時期であり、ある程度の園児数が必要なことから、廃園もやむを得ない。

所沢市老人ホーム亀鶴園等の指定管理者の指定

- 反対
 - 指定管理者制度では、当初予算で議会のチェックもできなくなる。
 - 1法人の応募しかなく、点数も低いことが心配される。当初は現在の人員を確保する仕様だが、営利を追求する法人が、今後も同じ仕様を維持していくか不安である。
- 賛成
 - 若狭会は、他の高齢者施設や保育園などの施設も堅実な運営を行っている。また、平成13年度からは亀鶴園の夜間管理を受託しており、実績も高く評価されている。職員配置も入所者に配慮したものであり、適格性を認める。

工事契約・財産取得

上新井地区雨水貯留施設築造

工事請負契約締結
契約金額 2億910万7,500円

取得金額 2,950万5千円
取得の相手方 株式会社モリタ東京営業部

指定管理者関係

下山口駅第1自転車駐車場等の指定管理者の指定

現指定管理者との協定が今年度で終了となるため、平成23年度



▲下山口駅第3自転車駐車場(荒幡)

所沢市老人ホーム亀鶴園等の指定管理者の指定

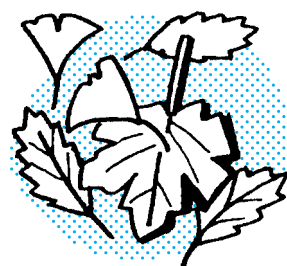
養護老人ホーム亀鶴園について、指定管理者による管理運営を行うとともに、亀鶴園老人デイサービスセンターについては、指定期間が満了するため、平成23年度から3年間の指定を行うものです。

指定する団体

社会福祉法人 若狭会
指定期間 平成23年4月1日、平成26年3月31日

人事案件・その他

●教育委員会委員の任命に同意
 ・京谷圭子氏(緑町/新任)
 ●公平委員会委員の選任に同意
 ・大岩征子氏(緑町/新任)
 ■市道路線の認定・廃止 8路線



この特別委員会を設置しました

決算特別委員会
 平成21年度一般会計、各特別会計、水道事業、病院事業会計の歳入・歳出予算の執行実績を確認し、内容を審査するため決算特別委員会(定員8人)を設置しました。

所沢市自治基本条例特別委員会
 所沢市自治基本条例についての議案の審査を行うため所沢市自治基本条例特別委員会(定員12人)を設置しました。

9月定例会で付託された決算認定議案12件の審査を、閉会中に行います。
 《決算特別委員会委員》
 ◎西沢 一郎(公明党)
 ◎小林 澄子(日本共産党)
 矢作 いづみ(日本共産党)
 末吉 美帆子(民主ネット)
 高田 昌彦(会派「翔」)
 村田 哲一(民主党)
 秋田 孝(市民クラブ)
 大館 靖治(自由民主党)

特別委員会委員
 ◎桑島 健也(会派「翔」)
 ◎福原 浩昭(公明党)
 末吉 美帆子(民主ネット)
 城下 師子(日本共産党)
 平井 明美(日本共産党)
 杉田 忠彦(市民クラブ)
 中村 太(会派「翔」)
 赤川 洋二(民主ネット)
 吉村 健一(公明党)
 大石 健一(市民クラブ)
 村田 哲一(民主党)
 石井 弘(自由民主党)

◎…委員長 ○…副委員長

市政に対する一般質問

9月定例会では、21人が一般質問を行いました。質問は各議員の多くの質問項目中1項目だけが掲載されています。なお、すべての質問項目は市議会ホームページでご覧になれます。

子ども福祉

PDCAサイクルは機能しているか?

質問者 公明党 福原浩昭

議員 地域福祉計画で設定している目標基準に対する結果、その検証方法を伺いたい。また、同計画におけるPDCAサイクルの仕組みについて見解を伺いたい。

保健福祉部長 目標基準に対する進捗は、事業課から現状や評価、課題等の報告を求めている。進捗を管理する所沢市地域福祉推進検討委員会からも提言を受け、計画に反映させている。

市長 計画に位置づけた実施事業の調査や、第三者機関による評価を行い、結果を所管課にフィードバックしており、PDCAサイクルは機能していると考えている。

対人保健分野の充実を図るために

質問者 民主ネットリベラル 石本亮三

議員 中核市や保健所政令市の保健所に移譲される権限は、部分的なものにとどまる。本市が保健所を持った場合、対人分野の充実を図るため、保健所整備により補充される保健師を保健センターに、医師を市民医療センターに回す考えもあるが、見解を伺いたい。

市長 保健事業の充実には重要な課題だと認識しているが、そもそも保健所と、保健センターや市民医療センターは、役割が異なると考える。現状の機能の中で保健師や医師を各センターへ配置する効果を検証し、対応を図ることが現実の方法だと考える。

来年度に向けた国保税の改正内容は

質問者 市民クラブ 大石健一

議員 本年8月に開催された国民

健康保険運営協議会への諮問のうち、国民健康保険税の改正について、市の考え方を伺いたい。また資産割の改正は検討したか。

市民経済部長 本年度は、低所得者層に対し新たな軽減措置を実施したが、来年度はおもに中間所得者層世帯の負担軽減を加え、すべての世帯が対象となるように医療給付費分の税率等の引き下げを考えている。今回の諮問内容は、被保険者全員が対象となる税額を減額するもので、資産割の改正は示していない。

虐待防止のための取り組みは

質問者 公明党 吉村健一

議員 児童虐待の予防と早期発見のための本市の取り組みを伺いたい。また、親への支援策として、しつけの方法など親に対する取り組みのプログラムである「コミュニケーション・ペアレンティング」講座を本市でも実施できないか。

加入率増加に向け人材育成が急務

質問者 自由民主党 大館靖治

議員 自治会の加入率が年々減少している理由は何か。また、自治会活動の戦力となる人材をどのように育成していくのか伺いたい。

市民経済部長 加入世帯数は増加しているが、総世帯数が大幅に上回っているため加入率が減少している。人材育成は重要な課題であり、これまでも公民館等で事業を実施している。今後は(仮称)まちづくりセンターで、住民自治活動のリーダーの役割を担う人材育成講座等を開催し、支援していきたい。

核兵器廃絶に向けて国へ働きかけを

質問者 日本共産党 小林澄子

議員 長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典に参加した市長の感想と、核兵器廃絶に向けての決意を伺いたい。また、市長は平和市長会議の一員になっており、非核三原則の法制化と、核の傘からの離脱を国に求めることはできないか。



利点はあるのか

国保の広域化

質問者 日本共産党 荒川 広

議員 国民健康保険法の改正により、都道府県単位に広域化する制度変更が盛り込まれた。国庫負担が削減されたまま広域化しても財政や制度の改善にはつながらないのではないか。また、県知事との協議で、一般会計繰入金全廃や徴収強化等が協議された場合、ど



▲子ども相談センター(市役所2階)

のように対応するのか。

市長 後期高齢者医療制度の廃止の問題や厳しい国保財政から、広域化という意見が出されていると認識している。国への要望や県との協議内容は、全体の中で足並みをそろえる必要があり、情報を聴取して本市としての意見を取りまとめる必要がある。

行政・財政

産業政策の充実で「魅力的なまち」に

質問者 公明党 村上 浩

議員 市民意識調査によると、20歳代の市民の本市に対する愛着度や定着志向が低い。産業政策として、産業創出や地域ブランドなどにぎわいと地域活性化を任務とした新しい部署を設置できないか。

市長 第5次総合計画・基本構想素案の策定過程で、土地利用構想をまとめる際、関連部署で意見交換を行ったこともあり、庁内会議やプロジェクトによる趣旨の実現も可能と考える。前期基本計画素案では、重点課題に所沢ブランドの創造と地域経済の活性化を掲げ所沢ブランドと呼べる資源を市内外に発信することとしている。

増え続ける臨財債償還見込みは?

質問者 会派「翔」 高田昌彦

議員 臨時財政対策債は、平成13年度以来残高が増加し続けているが、今後どのように処理されるのか。また、平成21年度は約35億円借りているが、使途を伺いたい。

財務部長 中期財政計画の中で毎年度公債費等の推計値を設け、最も金額の大きい平成23年度以降徐々に減額する形で償還したい。財源不足に充当していることや一般財源であることから、使途は具体的には明示できないが、臨財債を借りる理由の一つに社会保障費の増があり、強いて挙げれば社会保障費に充当しているといえる。

入札をしないのは問題! 「暮らしの便利帳」

質問者 市民クラブ 岡田静佳

議員 「暮らしの便利帳」の作成について、市は(株)サイネックスと協定を結んでいる。業者選定の際市内業者を検討対象にしなかった理由、入札をしなかった理由は何か。また、283社から高額な広告料を集めているが、営業方法に問題はなかったか。

市長 本事業は、情報の収集、編集、広告募集、印刷、製本、配布という作業を一括で実施するもの

入札制度改革のさらなる充実を

質問者 日本共産党 城下師子

議員 本市は試行的に総合評価方式を導入しているが、要綱や審査委員会は県のものを利用しており市独自の評価ができない状態である。障害者の雇用や仕事と子育ての両立支援、環境に配慮した取り組み、企業の社会的責任を早急に評価項目に取り入れられないか。

市長 社会的責任の評価は、二酸化炭素の削減対策や障害者雇用の状況等を評価項目に加えている。子育て支援の項目は、県総合評価審査委員会の意見を聴き、検討したい。市内業者が総合評価方式に慣れるまで試行実施を拡充しながら、実施マニュアルの策定と審査委員会の設置を検討したい。



▲暮らしの便利帳

市長 原爆の甚大な被害を痛感しており、核兵器の恐ろしき、戦争の悲惨さと平和の大切さを訴えることへの責任を感じている。核兵器反対の立場は平和都市宣言で明確にしており、非核三原則の法制化や核の傘からの離脱は、国政レベルでの議論が必要と考える。



設置が望まれる 右折矢印信号

議員 民主ネットリベラル 浅野美恵子

議員 所沢駅西出入口交差点は現在丁字路であり、右折用の矢印信号が設置されていない。所沢村山線の開通に向けて設置が必要ではないか。スクランブル信号を希望する声もあり、見解を伺いたい。

建設部長 ダイエー方面からの車両が所沢村山線に右折することで渋滞が懸念されることは理解している。開通後の交差点の通行車両の流れを検証し、関係機関と調整したい。スクランブル交差点は安全対策面では効果的であるが、車両の待ち時間が増加し渋滞が発生するというデメリットもあり、開通に向けた交通協議で協議・検討したい。

市民の安全・安心のため 水銀の自主基準値を

議員 日本共産党 矢作いづみ

議員 都内の焼却施設の可燃ごみに水銀が混入し、焼却炉を停止した事故は廃プラ焼却の影響も考えられる。本市でも水銀の自主基準値を設け、焼却炉に水銀値自動測定器を設置し、周辺大気の水銀値を継続して行うべきではないか。

環境クリーン部長 自主基準値の設定や、現段階で排出規制も測定義務もない排ガス中の水銀濃度自動測定器の設置は、国の動向をみていきたい。また、一般環境中の大気測定を毎月実施し、水銀濃度の測定も行うっており、改めて周辺大気の水銀値を測定する予定はない。

パルコ新所沢店の 駐輪場確保に向けて

議員 会派「翔」 桑島健也

議員 駐輪場不足に対する(株)パルコ新所沢店の見解を伺いたい。また、(株)ビッグ・エー新所沢店のす向かいにあるパルコの駐車場の一部や、けやき通りの中央公園側の歩道を駐輪場にできないか。

市民経済部長 (株)パルコ新所沢店は自転車駐車場の不足を十分認識している。新規の駐輪施設の場所についても、自社の土地も含めて検討しており、市としても、提案

急激に削減された 林間学校参加費の援助

議員 日本共産党 平井明美

議員 就学援助費の林間学校参加費は全額支給されていたが、本年度から国基準に合わせ大幅に減額された。元に戻すこと、もしくは段階的な減額にできないか。

教育総務部長 財政状況により事業を見直した結果、認定基準を維持するために減額とした。林間学校は、就学援助受給者全員が対象ではないことや、実施していない学校もあることから、認定基準の変更や他の支給科目の減額よりも全体的な影響は少ないものと考えられる。制度維持のための決断と理解をいただきたい。

借地による サッカー場の建設は

議員 公明党 西沢一郎

議員 定期借地権付きの借地という形で土地を確保し、市のサッカー場を建設する考えはあるか。また、借地公園設置要綱を参考にスポーツ公園設置要綱を作成し、土地をいろいろな角度から確保できる体制作りが必要ではないか。

教育総務部長 定期借地権の契約は契約期間満了後に土地を買い取る必要がなく、財政面では有利である。借地公園とサッカー場は規

模や設置頻度が違うが、要綱という考えにとられず、基本的な考え方、方針を定める必要がある。

「合唱のまち・所沢」の 実現に向けて

議員 市民クラブ 秋田 孝

議員 合唱連盟の補助金は、本年度より文化団体連合会補助金から別立てとなった。合唱連盟は、独自性を高め合唱を普及させたい狙いがあるのではないかと。また、合唱連盟をはじめとした外部指導者にお願ひし、小・中学校の合唱レベルを上げることはできないか。

教育長 市文化祭の一環であった合唱祭が本年度から所沢市民合唱祭として開催されるが、出演枠を広げ、愛好家のすそ野を広げるためである。外部指導員の力は部活動のレベルの維持向上に役立つもので、合唱連盟の協力があれば合唱文化が一層発展すると考える。



歩道に置かれた自転車(緑町)

雑紙の回収量増加に 向けた取り組み

議員 民主ネットリベラル 末吉美帆子

議員 家庭から出される可燃ごみの中に、資源化の可能な雑紙がかなり見られる。市の施策について伺いたい。また、「家庭ごみの分け方・出し方」にわかりやすく取り入れることにより、回収量増加につながるのではないかと。

環境クリーン部長 従来は雑誌に挟み、ひもで縛って回収していたが、手軽に取り組むことができるよう、昨年からは紙袋に入れ、ひもで十文字に縛って出す方法での回収とした。雑紙の回収に仕組みやすくするためにも、雑紙の種類を「家庭ごみの分け方・出し方」でわかりやすく明記したい。

温暖化対策を考慮した 処理基本計画を

議員 共生 脇 晴代

議員 改正一般廃棄物処理基本計画には焼却量削減とはいえない項目があり、焼却ごみの減量目標も家庭系10%、事業系15%となっている。理念目標として「ごみゼロ」掲げ、減量化率目標を50%程度とし、総合計画の地球温暖化対策と整合性を図るべきではないか。

市長 減量の目標値は、高く掲げる考えもあるが、本市は堅実にハードルを越えることとした。減量目標の達成状況を見ながら、次の見直し時にはさらに高いハードルを設定できるよう、市民、事業者との協働により努力したい。

改札を2か所にし 利用しやすい駅に

議員 市民クラブ 杉田忠彦

議員 JR東所沢駅は、電車の本数や利用者数は急増しているが、改札は1か所である。東側改札口の設置への取り組みを伺いたい。

市民経済部長 県を經由した各鉄道事業者への整備要望の中で、平成18年度から毎年要望事項としている。設備投資等の面から難しいが、請願者負担やシルバー人材の活用等の事例もあり、要望に応じる形で対応したいとの回答であった。

閉会中の議会活動

総務常任委員会

北海道稚内市では「日本のてっぺん応援基金」について、名寄市では「庁議等の公開」について、士別市では「地域担当職員制度」・「宅配行政サービス」についてそれぞれ視察しました。

教育福祉常任委員会

北海道小樽市では重症心身障害児(者)施設みどりの里、石狩市では、石狩市総合保健福祉センター「りんくる」、札幌市では「札幌市子育て支援総合センター」を視察しました。

市民環境常任委員会

特定事件「市民活動について」、(仮称)所沢市市民活動支援センター開設事業について審査を行いました。

このほか、特定事件「農業について」の関連で、所沢市の茶業の現状について、2人の参考人を招致して意見聴取を行いました。なお、この審査結果を踏まえ、提言をまとめました(8ページ中段参照)。

建設水道常任委員会

特定事件「都市景観の整備について」、所沢市景観条例案及び所沢市ひと・まち・みどりの景観計画案について審査を行いました。

第5次所沢市総合計画特別委員会

岐阜県多治見市を訪問し、「総合計画策定における議会の関わり」について説明を受け、質疑を行いました。その後、平成22年6月から新たに供用開始となった最終処分場施設の視察を行いました。

本会議において賛否が分かれた審議結果〔平成22年第3回定例会〕

○：賛成 ×：反対

議案番号等	審議結果														結果															
	市民クラブ				公明党				日本共産党				会派「翔」			民主ネットリベラル		自由民主党		民生党		共生								
	杉野	石田	島田	岡田	久保田	福原	村上	西川	小川	菅原	矢野	荒川	城下	小林	平井	桑島	中村	高田	末吉	石川	浅野	石井	浜野	大館	水村	村田	脇	晴代		
第74号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第75号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第80号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

*掲載されていない議案は全会一致可決しました。全議案(39件)の審議結果は市議会ホームページ「議決の概要」をご覧ください。

教育・文化

夢をはぐくむ 海外派遣事業の復活を!

議員 市民クラブ 荻野泰男

議員 本年度の中学生海外派遣事業が休止となった理由は何か。また、本事業のこれまでの成果、来年度の実施の有無についても伺いたい。

教育長 本年度は財政状況の面から休止とした。中学生を海外に派遣し、国際理解を深め、自国の文化等に対する理解を培い、世界に貢献する日本人の育成を目指すものである。生徒は各学校の報告会等で異文化交流の素晴らしさを伝え、成果を上げている。本事業の意義は認識しており、来年度については十分検討していく。



請願・陳情審議の結果（9月定例会）

件名	提出者	結果
○請願第4号 議員定数削減を求める件	所沢市経済活性化協議会 会長 鳥田 孝男さん（宮本町）ほか33人	継続審査
○請願第5号 美原町に公園を設置願いたき件	柘植 康嗣さん（美原町）ほか3,479人	趣旨採択 （全会一致）
○請願第6号 自治基本条例検討についての「体制整備」を願う件	本間 滋さん（小手指町）ほか61人	採 択 （全会一致）

市議会3か月



- 7月7日 全員協議会
第5次所沢市総合計画
特別委員会
- 15日 代表者会議／議会運営委員会
議会報・図書室委員会
- 21日 市民環境常任委員会
- 26～27日 代表者会議視察
- 28日 建設水道常任委員会
- 8月1～3日 教育福祉常任委員会視察
- 3～5日 総務常任委員会視察
- 8～9日 第5次所沢市総合計画
特別委員会視察
- 10日 議員研修会
（於：市役所8階大会議室）
- 16日 市民環境常任委員会
- 20日 代表者会議
- 24日 議会運営委員会
- 25日 第5次所沢市総合計画
特別委員会
- 26日 代表者会議／議会運営委員会
全員協議会
- 9月2～27日 第3回定例会
- 14日 議会報・図書室委員会
- 22日 第5次所沢市総合計画
特別委員会

狭山茶の発展・消費拡大のために（提言）

市民環境常任委員会は、平成22年8月16日、所沢市茶業協会会長 新井重雄氏、及び狭山茶所沢研究会会長 関 隆治氏に参考人としてご出席願ひ、「所沢の茶業の現状について」というテーマで意見聴取を行なった。両氏ともに、所沢の茶業を発展継承したいという高い使命感のもと、茶業の発展にご尽力されていることがわかった。

委員会として、参考人からの意見聴取をふまえ、今後の狭山茶の発展・消費拡大のために、以下提言する。

- 1、狭山茶の普及拡大や、お茶を通じた家庭・家族の絆を深めるためにも、学校教育・社会教育・家庭教育学級・食育などあらゆる機会をとらえ、お茶の講習会などを開催し、広く所沢市民に狭山茶を楽しむ機会を提供すること。
- 2、市役所内の会議などで湯茶を供する場合、安易なペットボトル茶の利用を抑制し、可能な限り急須を利用して供すること。

可決された決議

9月定例会で教育福祉常任委員会より提出され、可決された決議は以下のとおりです。

小・中学校の猛暑対策を早急に実施することを求める決議

気候変動の影響による猛暑のなか、熱中症で亡くなる人が相次ぐなど大変な事態となっている。こうしたなか、9月1日から小・中学校の授業も始まっており、猛暑対策が進んでいない学校では、体調不良を訴える児童・生徒も増加するなど深刻な事態である。

この間、議会としても小・中学校の普通教室へのエアコン設置を求めてきたところであるが、いまだ実現に至っていない。

市の宝である子どもたちが、授業に集中できるための教育環境の整備・充実が緊急の課題である。猛暑から子どもたちを守るためにも、市として小・中学校の各教室に猛暑対策を早急に取り組むこと。以上、決議する。

次の定例会は11月29日からの予定です。

傍聴をお待ちしています。

本会議インターネット中継もご利用ください。



編集後記

今年の夏は記録尽くしの猛暑。荒れ狂うような暑さの中で、あらゆるものが予想を反して動き出しました。

株価の下落や急激な円高も、為替介入で解決し企業の活力も出るかと思いましたが効果なく、景気後退が続いています。

9月定例会に「市民と市が協働で作り上げた」自治基本条例案が提案され、議会でも「熱い」議論となりました。結果は継続審査となり、「所沢市自治基本条例特別委員会」が設置されました。今後は、特別委員会での活発な論議を期待するものです。

例年は、お盆を過ぎれば秋風も色を見せませんが、今年は遅い登場でした。夜の雨で、身を潜めていた秋が急に姿を見せたように、空気が入れ替わり、中秋の名月を待ちあぐねていたように、ようやく秋が巡るのかと思いましたが、時としてまだ暑さが続いています。

（高）

- 委員長 杉田忠彦
副委員長 末吉美帆子
委員 菅原恵子 荻野泰男
水村篤弘 吉村健一
高田昌彦 浅野美恵子
石井 弘

連絡先 議会事務局調査担当

（☎2998-9256）